

展示物名：和泉型瓦器椀

制作年：平安～鎌倉時代

出土地：高松城跡

展示物概要：

高松城跡で出土した、現在の大阪府で製作された和泉型瓦器椀です。瀬戸内海地域に広く流通し、港などで多量に出土します。器をへうでみがいた後に全面に炭素を吸着させて高温で焼成するため、壁面は黒光りしています。

和泉型瓦器椀が流通した当時、屋島は島でした。現在は陸地化していますが、屋島にも湍元という場所に港があり、栄えていたようです。中世には湍元から多量の塩が運ばれていたことが、文献からわかっています。